

安心して 住み続けられる

まちづくりに **109** 億円

お知らせします！

まちの行財政 **2024**

岩手県葛巻町 令和6年度予算説明書

発行にあたって



岩手県 葛巻町長
鈴木重男

町民の皆様におかれましては、日ごろから町政の各分野におきまして深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

現在の社会を取り巻く状況を見ますと、30年ぶりの高い賃上げ水準となっている一方で、それらを上回るペースで物価が上昇し、物価高騰に賃金上昇が追いついていない状況にあり、さらに、コロナ禍からのインバウンド需要の回復などによる経済の好循環が地方全体に波及しておらず、地域経済は依然として厳しい状況であります。

こうしたことから、町民生活の質の向上に向けた施策に継続して取り組むとともに、全ての施策に磨きをかけ、安心して住み続けられるまちづくりを推進し、町民福祉の向上に努めてまいります。

特に、町の最重要課題である「人口減少対策」については、既存産業の更なる発展のほか、新たな起業や雇用の確保による所得の向上に努めるとともに、住宅、医療、教育などの各分野において、子育て環境の充実と負担の軽減を図ってまいります。

また、本年は新たなまちの拠点として消防分署棟のほか、車庫棟、町産材を使用した大屋根広場「びっぐテラス」などの完成を予定しております。さまざまな機能が集約されたまちづくりの拠点施設として、本格的に稼働することとなり、人の流れの変化のほか、民間企業を含めたさらなる施策の広がりが期待され、町の発展を支える拠点として活用してまいります。

社会はかつてない速さで変革しており、引き続き社会の流れ、動きを注視し、大きな変化・変革の流れの中にあっても、当機立断で対応し、町民の皆さんが安全・安心に暮らせ、幸せを実感できるよう、町政運営に取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目次

1 p	発行にあたって
2 p	まちの予算の状況
6 p	総合計画体系別の予算の状況
20p	まちの森林環境譲与税の状況
21p	まちの決算の状況
28p	まちの財務書類
30p	まちの行政組織

令和6年度 まちの 予算 の状況

■ 予算額 (令和5年度対比)

令和6年度の一般会計予算は、昨年度に引き続き、庁舎等建設事業に係る予算などを計上し、予算総額は72億812万円（前年度比0.9%増）となりました。特別会計は、2つの会計の合計が8億8,330万円で、一般会計と2つの特別会計の合計額は、80億9,142万円（前年度比2.8%減）となっています。

企業会計は、病院事業会計が支出ベースで14億4,317万円（前年度比8.4%増）、水道事業会計が支出ベースで5億6,030万円（前年度比57.8%増）、今年度から企業会計に移行した下水道事業会計が3億2,012万円となっています。

一般会計・特別会計

会 計 名	令和6年度	令和5年度	増 減 額 (伸 率)
一 般 会 計	72億 812万円	71億 4,397万円	6,415万円 (0.9%)
特 別 会 計	8億 8,330万円	11億 7,776万円	△2億 9,446万円 (△ 25.0%)
国民健康保険事業	7億 9,070万円	8億 4,836万円	△5,766万円 (△ 6.8%)
農業集落排水事業	—	2億 4,137万円	企業会計移行のため皆減
後期高齢者医療事業	9,260万円	8,803万円	457万円 (5.2%)
合 計	80億 9,142万円	83億 2,173万円	△2億 3,031万円 (△ 2.8%)

企業会計

会 計 名	令和6年度	令和5年度	増 減 額 (伸 率)		
病院事業会計	収益的収支	収 入	10億 9,759万円	10億 9,104万円	655万円 (0.6%)
		支 出	11億 9,665万円	11億 9,072万円	593万円 (0.5%)
	資本的収支	収 入	1億 8,445万円	8,366万円	10,079万円 (120.5%)
		支 出	2億 4,652万円	1億 4,092万円	10,560万円 (74.9%)
水道事業会計	収益的収支	収 入	1億 5,985万円	1億 6,335万円	△350万円 (△ 2.1%)
		支 出	2億 95万円	2億 56万円	39万円 (0.2%)
	資本的収支	収 入	3億 76万円	9,501万円	20,575万円 (216.6%)
		支 出	3億 5,935万円	1億 5,456万円	20,479万円 (132.5%)
下水道事業会計	収益的収支	収 入	1億 6,190万円	—	企業会計移行のため皆増
		支 出	1億 5,957万円	—	
	資本的収支	収 入	2億 3,422万円	—	
		支 出	1億 6,055万円	—	
支出額の合計		23億 2,359万円	16億 8,676万円	6億 3,683万円 (37.8%)	
前年度からの繰越		5億 1,723万円	8億 2,774万円	△3億 1,052万円 (△37.5%)	
総 合 計		109億 3,224万円	108億 3,073万円	1億 151万円 (0.9%)	

※ 収益的収支は、経営活動によって発生する収入と支出のことをいい、資本的収支は、建物や施設の建設などに係る収入と支出のことをいいます。

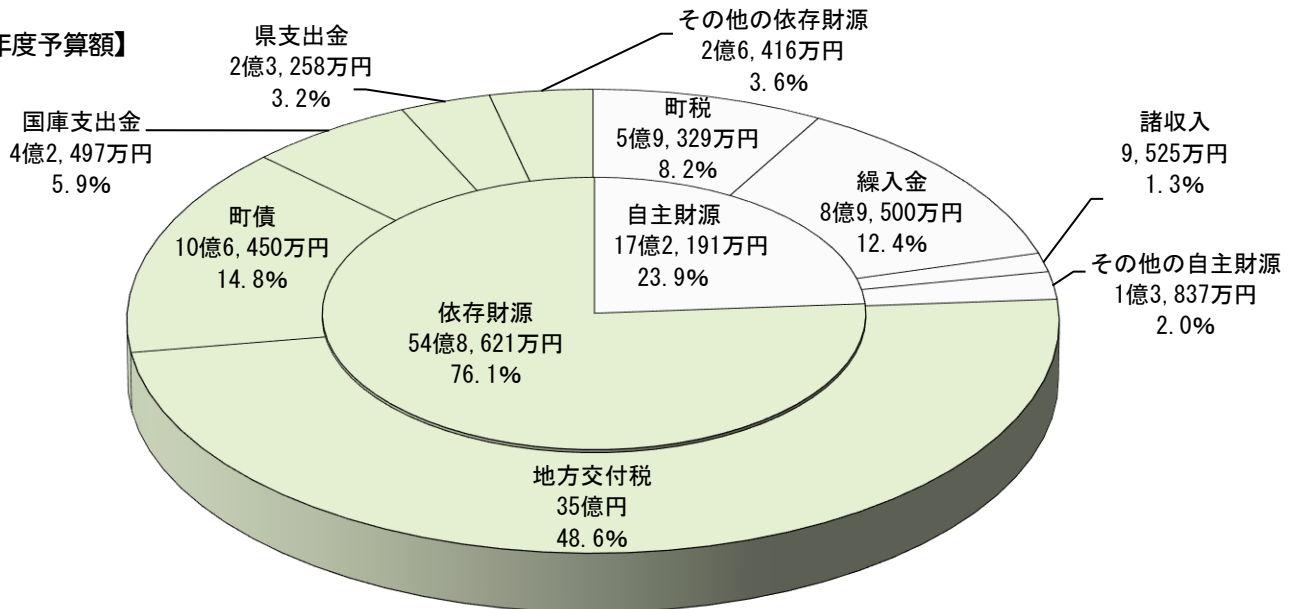
■一般会計 歳入 (入ってくるお金)

歳入は、その性質により自主財源（町が自力で収入できるお金で【税金、使用料、負担金、基金からの繰り入れ】など）と依存財源（国・県などから交付、割り当てられるお金で【地方交付税、国庫・県支出金、各種交付金】など）に分かれます。

令和6年度予算の自主財源割合は23.9%で、令和5年度の19.9%に比べ4.0ポイント増加しています。

項 目		令和6年度予算額 (構成比率)	令和5年度予算額 (構成比率)	摘 要
自主財源	町 税	5億9,329万円 (8.2%)	5億6,647万円 (7.9%)	町民の皆さんからの税金
	繰 入 金	8億9,500万円 (12.4%)	6億3,860万円 (8.9%)	一般会計、特別会計、基金等の会計間を移動するお金
	諸 収 入	9,525万円 (1.3%)	8,881万円 (1.3%)	町税等の延滞金や町預金利息等
	分担金及び負担金	4,688万円 (0.7%)	4,494万円 (0.6%)	保育所や養護老人ホームなどの利用者が負担したお金
	その他の自主財源	9,149万円 (1.3%)	8,634万円 (1.2%)	使用料、手数料など他の収入科目に含まれないお金
依存財源	地 方 交 付 税	35億0,000万円 (48.6%)	33億9,000万円 (47.5%)	町の財政需要の状況により国から配分されるお金
	町 債	10億6,450万円 (14.8%)	14億9,050万円 (20.9%)	事業を行うために国などから借りるお金
	国 庫 支 出 金	4億2,497万円 (5.9%)	3億4,568万円 (4.9%)	事業を行うために国からもらうお金
	県 支 出 金	2億3,258万円 (3.2%)	2億3,826万円 (3.3%)	事業を行うために県からもらうお金
	地 方 譲 与 税	1億3,220万円 (1.8%)	1億2,257万円 (1.7%)	自動車重量税など国税から町に配分されるお金
	その他の依存財源	1億3,196万円 (1.8%)	1億3,180万円 (1.8%)	地方消費税交付金、利子割交付金、交通安全対策特別交付金等
合 計		72億 812万円 (100.0%)	71億 4,397万円 (100.0%)	前年度比 6,415万円増

【令和6年度予算額】



●歳入 (令和6年度予算と前年度予算との比較)

年度	依存財源	町債	その他依存財源	自主財源	その他自主財源
R6 (令和6年度)	54.9億円 76.1%	10.7億円 14.8%	9.2億円 12.7%	17.2億円 23.9%	11.3億円 15.7%
R5 (令和5年度)	57.2億円 80.1%	14.9億円 20.9%	8.4億円 11.7%	14.2億円 19.9%	8.5億円 12.0%
				町税 5.9億円 8.2%	
				町税 5.7億円 7.9%	

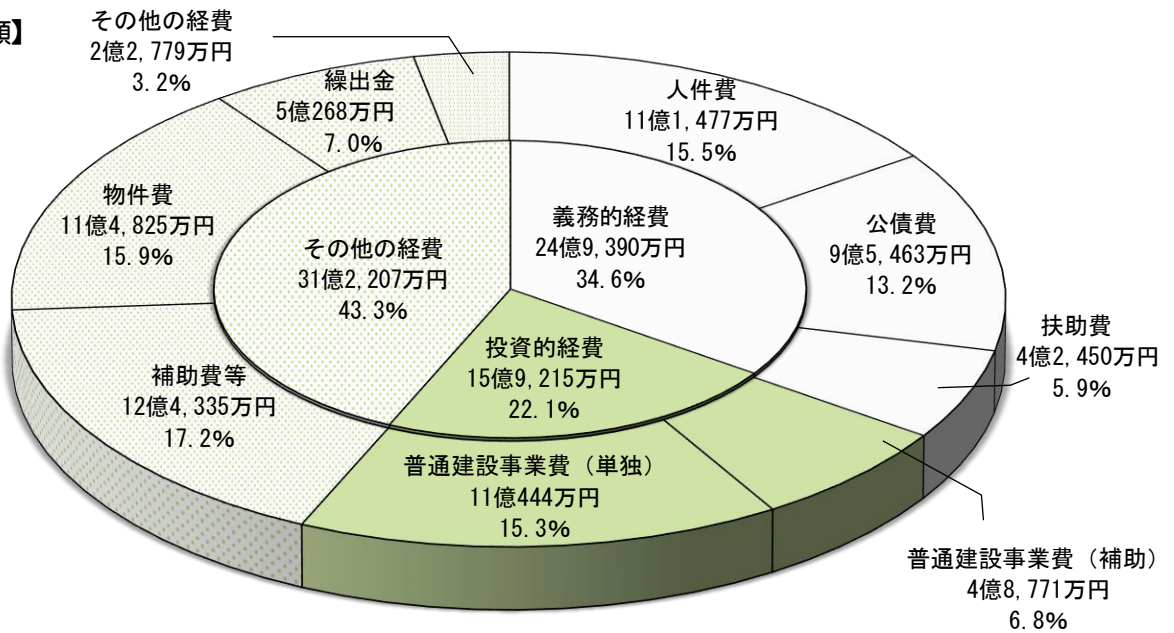
■一般会計 歳出 (出ていくお金)

●性質別

歳出は、その性質により、支出が義務づけられ任意に削減できないお金「義務的経費」、施設建設など将来残るものにかかるお金「投資的経費」、「その他の経費」の3項目に区分することができます。

項目		令和6年度予算額 (構成比率)	令和5年度予算額 (構成比率)	摘要
義務的経費	人件費	11億1,477万円 (15.5%)	10億5,421万円 (14.8%)	議員報酬、各種委員報酬、職員給与・手当などの経費
	公債費	9億5,463万円 (13.2%)	9億4,045万円 (13.2%)	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
	扶助費	4億2,450万円 (5.9%)	4億2,339万円 (5.9%)	医療費扶助、福祉関係扶助、教育関係扶助などの経費
投資的経費	普通建設事業費(補助)	4億8,771万円 (6.8%)	2億4,767万円 (3.5%)	建設事業のうち、国・県などから補助金・負担金を受けて施工する事業の経費
	普通建設事業費(単独)	11億444万円 (15.3%)	14億406万円 (19.6%)	建設事業のうち、国の補助などを受けず町が自主的に施工する事業の経費
	災害復旧事業	－万円 (－%)	－万円 (－%)	洪水などの被害を受けた施設を原形に戻すため施工する事業の経費
その他の経費	補助費等	12億4,335万円 (17.2%)	11億9,245万円 (16.7%)	報奨金、損害保険料、負担金・補助金、公課費などの経費
	物件費	11億4,825万円 (15.9%)	11億8,839万円 (16.6%)	賃金、旅費、交際費、消耗品費、郵便料、委託料、使用料、低額備品などの経費
	繰出金	5億268万円 (7.0%)	4億9,456万円 (6.9%)	特別会計などへ支出する経費
	その他の経費	2億2,779万円 (3.2%)	1億9,879万円 (2.8%)	維持補修費、投資、出資金、貸付金、積立金、予備費
合計		72億812万円 (100.0%)	71億4,397万円 (100.0%)	前年度比 6,415万円増

【令和6年度予算額】



●性質別歳出内訳 (令和6年度予算と前年度予算との比較)

Year	Category	Sub-Category	Amount (億円)	Percentage (%)
R6 (2024)	義務的経費 (34.6%)	人件費	11.2	15.5%
		公債費	9.6	13.2%
		扶助費	4.2	5.9%
	投資的経費 (22.1%)	普通建設事業費(単独)	11.1	15.3%
		普通建設事業費(補助)	4.8	6.8%
		その他の経費 (43.3%)	31.2	43.3%
R5 (2023)	義務的経費 (33.9%)	人件費	10.6	14.8%
		公債費	9.4	13.2%
		扶助費	4.2	5.9%
	投資的経費 (23.1%)	普通建設事業費(単独)	14.0	19.6%
		普通建設事業費(補助)	2.5	3.5%
		その他の経費 (43.0%)	30.7	43.0%

●目的別

目的別は、行政目的により議会費、総務費、民生費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、教育費、災害復旧費、公債費、諸支出金、予備費の14項目に区分されます。

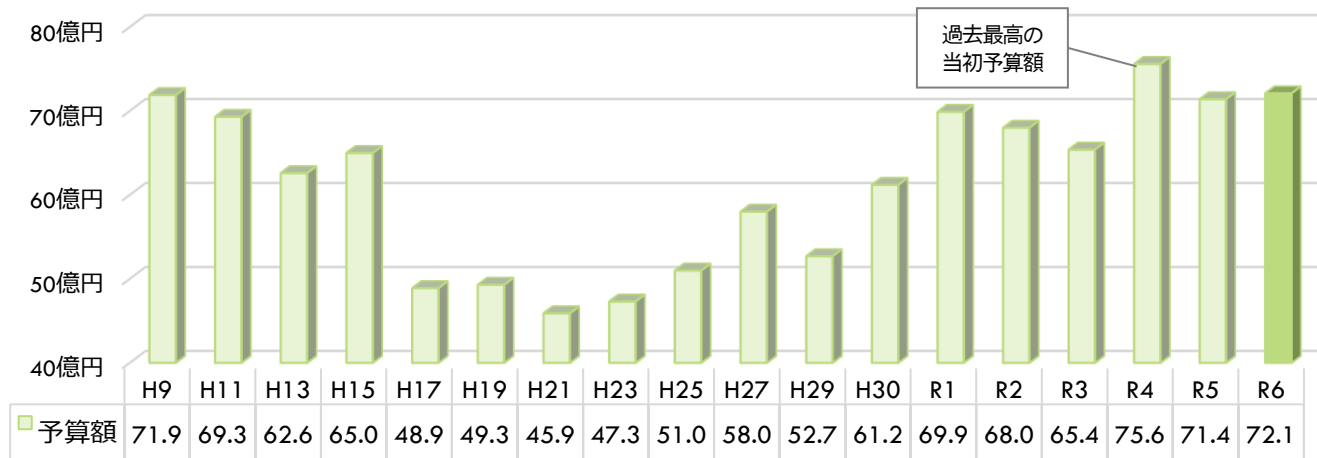
項 目	令和6年度予算額 (構成比率)	令和5年度予算額 (構成比率)	摘 要
総 務 費	16億6,004万円 (23.0%)	14億7,470万円 (20.6%)	情報通信基盤や再生可能エネルギー施設の維持管理、行政事務などにかかる経費
民 生 費	11億3,115万円 (15.7%)	12億1,323万円 (17.0%)	高齢者福祉や障がい者福祉、保育所の運営などの社会保障にかかる経費
衛 生 費	9億7,614万円 (13.5%)	14億1,639万円 (19.8%)	保健・衛生・環境などの業務にかかる経費
農 林 水 産 業 費	5億2,907万円 (7.3%)	4億8,456万円 (6.8%)	農林・畜産業の振興や土地改良事業などにかかる経費
公 債 費	9億5,528万円 (13.2%)	9億4,111万円 (13.2%)	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
土 木 費	6億6,752万円 (9.3%)	4億4,940万円 (6.3%)	道路・公園・河川などの建設や維持管理にかかる経費
教 育 費	6億7,895万円 (9.4%)	5億6,830万円 (8.0%)	小・中学校の運営や社会教育・体育事業の開催などにかかる経費
消 防 費	3億7,883万円 (5.3%)	3億6,548万円 (5.1%)	防災や災害時の活動などにかかる経費
商 工 費	9,944万円 (1.4%)	1億1,718万円 (1.6%)	商工業振興や観光振興などにかかる経費
労 働 費	2,736万円 (0.4%)	2,310万円 (0.3%)	労働福祉などにかかる経費
その他の経費	1億434万円 (1.5%)	9,052万円 (1.3%)	議会費、諸支出金、予備費などの経費
合 計	72億812万円 (100.0%)	71億4,397万円 (100.0%)	前年度比6,415万円増

●目的別歳出内訳 (令和6年度予算と前年度予算との比較)

R6	総務費 16.6億円 23.0%	民生費 11.3億円 15.7%	衛生費 9.8億円 13.5%	農水費 5.3億円 7.3%	公債費 9.5億円 13.2%	土木費 6.7億円 9.3%	教育費 6.8億円 9.4%	その他 6.1億円 8.6%
R5	総務費 14.7億円 20.6%	民生費 12.1億円 17.0%	衛生費 14.2億円 19.8%	農水費 4.8億円 6.8%	公債費 9.4億円 13.2%	土木費 4.5億円 6.3%	教育費 5.7億円 8.0%	その他 6.0億円 8.3%

■一般会計当初予算額の推移

平成9年度以降の一般会計当初予算額の推移をグラフにしました。平成9年度の71.9億円を最高に右肩下がりに転じましたが、平成25年度以降は50億円、平成30年度以降は60億円を超える水準で推移しています。今年度の当初予算額は、過去最高となった令和4年度に次いで過去2番目に大きい規模であり、引き続き、庁舎等建設事業に係る経費などを計上していることが大きな要因となっています。



予算総額の109億3,224万円を総合計画の体系別に組み替えると、次のとおりとなります。

共通目標 8,446万円

魅力の発信による移住定住の促進と関係人口の創出 8,446万円

(1) 移住定住の促進
7,005万円

移住定住の促進

7,005万円

(2) 情報発信の強化と関係人口の創出
1,441万円

情報発信の強化と関係人口の創出

1,441万円

■ 主な事業と予算

- 各種子育て支援の情報や、特色ある積極的に発信し、子育て世代の呼び込みを強化します。
- 定住・雇用促進住宅の整備、空き家バンクの登録推進により、快適な住環境の充実を図ります。
- メールマガジンやSNS、情報配信アプリ等による情報発信の充実を推進します。

● 重点的に実施する事業

【新規】新婚ライフサポート事業

230万円〈いらっしゅい葛巻推進課〉

若者の定住促進及び地域の活性化を図るため町に定住する新婚夫婦に対し、婚姻に伴う各種行事等の経費の一部を支援します。

【事業内容】

- 新婚夫婦に対する生活の支援
- 結婚式等を実施した際に要した経費の一部を支援

【継続】定住対策住宅取得支援事業

1,000万円〈いらっしゅい葛巻推進課〉

町民が新たに住宅を新築する場合、または中古住宅などを購入する場合に要する経費の一部を助成します。

【給付額】

- 補助金の額：対象経費の1/2
- 補助上限額：100万円
(町内事業所と契約し新築施工した場合、補助上限額を200万円とする)
- ※中古住宅購入の場合、補助上限額は50万円

【拡充】空き家利活用促進事業

100万円〈いらっしゅい葛巻推進課〉

移住定住の促進及び地域の活性化を図るため町内の空き家等の利活用を行う者に対し、経費の一部を支援します。

【事業内容】

- 空き家のリフォーム及び修繕・残置物の整理等に要する経費の一部を支援

【継続】子育て世代移住者住宅取得支援事業

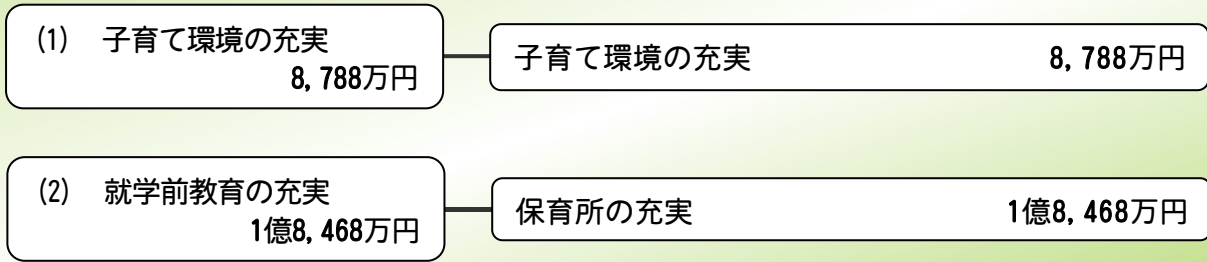
800万円〈いらっしゅい葛巻推進課〉

移住して5年以内の子育て世代が、新たに住宅を新築する場合、または中古住宅などを購入する場合に要する経費の一部を助成します。

【助成内容】

- 補助金の額：対象経費の1/2
- 補助上限額：300万円
(町内事業所と契約し新築施工した場合、補助上限額を400万円とする)
- ※中古住宅購入の場合、補助上限額は250万円

1 子どもを安心して産み育てられる子育て支援 2億7,256万円



■ 主な事業と予算

- 保育園運営のさらなる充実と保育士等の資質・能力向上に努めるとともに、就学前の子どもの成長を支え、小学校への円滑な就学を図ります。
- 町内在住の入園児の保育料完全無償化及び、在宅子育ての支援の充実を図ります。
- 不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するための支援を行います。
- 妊産婦への助成や乳幼児等への医療費助成などの事業を推進し、町内での子育てを支援します。
- 食育推進計画に基づき、地域特性を活かした「食育」を推進します。

● 重点的に実施する事業

【新規】 保育園エアコン設置事業 380万円〈こども教育課〉

安全安心な食事の提供と快適な保育環境を整えるため、調理室・保育室・事務室にエアコンを増設して整備します。

【事業内容】

- 葛巻保育園 3か所
- 小屋瀬保育園 3か所
- 江刈保育園 3か所

【継続】 在宅子育て支援事業 252万円〈こども教育課〉

育児休業を取得するなどして、保育施設を利用せずに在宅で7ヶ月～3歳未満児の子育てをする世帯を対象に支援金を給付します。

【給付額】

- 1世帯：1万円（月額）
- ※ただし、個人または家族と事業を営んでいる世帯は5万円（月額）

【継続】 出産祝金支給事業 400万円〈健康福祉課〉

出産に対して祝金を支給することにより、次代を担う子どもの誕生を祝福するとともに、子育て環境の充実と少子化対策の推進を図ります。

【事業内容】

- 第1子 10万円
- 第2子 20万円
- 第3子以降 30万円

【継続】 出産・子育て応援ギフト事業 200万円〈健康福祉課〉

妊婦・子育て家庭への産前産後のケアとギフト支給による経済的支援を行うことで、安心して出産・子育てができる環境の更なる充実を図ります。

【事業内容】

- 出産応援ギフト
妊娠時に妊婦への5万円支給
- 子育て応援ギフト
出産後に新生児の人数×5万円支給

2 学び輝く人づくりと葛巻を愛する人材育成 6億9,730万円

(1) 教育の充実 5億4,451万円	小中学校教育の充実	4億3,888万円
	高等学校教育の充実	1億563万円
(2) 生涯学習の充実と文化の継承 6,851万円	生涯学習の充実と文化の継承	6,851万円
(3) 生涯スポーツの推進 8,428万円	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	8,428万円

■ 主な事業と予算

- 学校教育では、基礎学力の定着を図るとともに、地域の資源を活かした教育を推進します。
- 公営学習塾を継続して運営し、個々のニーズに合わせたフォローを行うことで、葛巻高校生の進路達成に向けた学力向上や人材育成に寄与します。
- スポーツ施設の改修や指導者育成などにより、町民の利用促進だけでなく、町外からの誘客を図るとともに、より一層の生涯スポーツの推進に努めます。

● 重点的に実施する事業

【新規】教職員住宅整備事業 8,345万円〈こども教育課〉

教職員が町内に在住して、教育活動に専念できる環境を構築し、地域に根ざした教育の充実を図るために、新たに教員住宅を整備します。

【事業内容】

- 集合住宅（木造2階建て）1棟
1DKタイプ6室

【新規】社会体育館設備更新事業 1,373万円〈まなび交流課〉

葛巻町社会体育館の長寿命化を図るため、設置から45年を経過し、老朽化が著しい高圧受変電設備及びアリーナカーテンの更新を行います。

【事業内容】

- キュービクル機器の更新
- 消火栓ポンプ盤機器の更新
- アリーナカーテンの更新など

【新規】小屋瀬中学校体育館吊り天井改修事業 3,150万円〈こども教育課〉

避難所として学校施設の防災機能を強化するため、地震時の吊り天井落下の危険を防ぐ改修工事を行います。

【事業内容】

- 改修工事費 30,000千円
- 施工管理業務委託料 1,500千円

【拡充】高等学校教育振興事業 1,470万円〈こども教育課〉

葛巻高等学校教育振興協議会（事務局：葛巻高等学校）に補助金を交付し、海外研修を含め、生徒の英検補助、進学対策といった魅力ある学校づくりや生徒の通学補助に活用します。

【事業内容】

- 魅力ある学校づくり 570万円
- 通学補助 900万円

【継続】山村留学事業

5,521万円〈こども教育課〉

県外等から親元を離れて葛巻高等学校に入学する山村留学生の生活の場として、寄宿舎を運営し留学生を支援します。

また、(一財)地域・教育魅力化プラットフォームが主催する地域みらい留学事業に参加し、全国から山村留学生を募集します。

【事業内容】

- 寄宿舎運営経費 5,521万円

【継続】学び輝く“ひと”づくり支援事業

(給食費無償化)

1,219万円〈こども教育課〉

児童生徒の保護者の経済的負担軽減を図り、子育てしやすい環境整備を促進するため、給食費の無償化を行います。

また、食料品の高騰から昨年度より1食30円増額し支援を行います。

【事業内容・1人あたり】

- 学校給食費(無償化)
小:48,600円(年額)、中:52,500円(年額)

【継続】公営学習塾運営事業

2,536万円〈こども教育課〉

葛巻高等学校の生徒を対象とした個別指導による通年学習塾「葛巻町学習塾」を運営委託し、生徒が抱く夢と進路達成を後押しします。

また、映像教材(希望者・一部有料)を導入して、葛巻高等学校と連携しながら、さらなる生徒の学力向上を目指します。

【継続】学び輝く“ひと”づくり支援事業

(学用品費等給付事業)

895万円〈こども教育課〉

児童生徒の保護者の経済的負担軽減を図り、子育てしやすい環境整備を促進するため、“学び”に必要な経費に対して支援を行います。

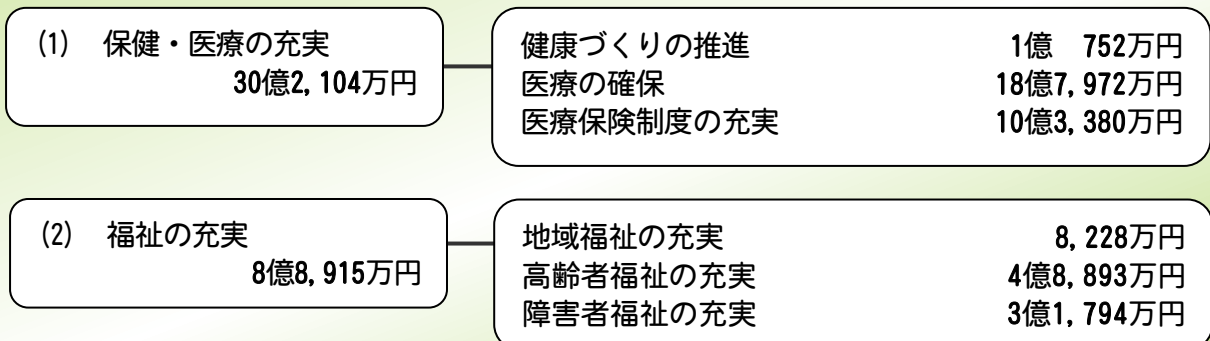
【事業内容・1人あたり】

- 学用品費等・クラブ活動費
小:1万円(年額)、中:4万円(年額)
- 修学旅行費
小:2.5万円、中:5万円
- 新入学用品費(1年生)
小:4万円、中:5万円、高:4万円

● その他の主な事業

● 小学校・中学校管理経費	6,086万円	(こども教育課)
● 小学校・中学校スクールバス運行経費	2,115万円	(//)
● 小学校・中学校教育振興事業	1,932万円	(//)
● 保健管理事業	498万円	(//)
● 学校・家庭・地域連携協力推進事業	374万円	(まなび交流課)
● 生涯学習推進事業	189万円	(//)
● 文化財保護事業	169万円	(//)

3 誰もが生きがいを持って暮らすことができる環境づくり 39億1,019万円



■ 主な事業と予算

- 各種感染症予防に努めます。
- 各種予防ワクチン接種費用への助成を推進します。
- 「こころの健康づくり連絡会」と連携し、うつスクリーニングの実施等による、自殺予防対策を推進します。
- 医療機関などと連携し、生活習慣病予防や介護予防を重視した健康相談事業などを推進します。
- 後期高齢者医療事業の安定した運営に努めます。
- 地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉及び介護保険事業に係る各計画に基づき事業を推進します。

● 重点的に実施する事業

【継続】 子ども・生徒医療費助成事業
1,652 万円〈住民会計課〉

県の子ども医療費助成制度に加え、高校生までの医療費助成を継続して行い、適正な医療の確保と子育て世代の負担軽減を図ります。

【事業内容】

- 医療費の一部負担を全額助成

【継続】 くずまキッズ予防接種費扶助事業
155 万円〈健康福祉課〉

高校生以下が任意のワクチン接種を行った場合にくずまき商品券で助成を行い、感染症等の予防を推進します。

【事業内容】 ※金額は上限額

- おたふく 4,000円
- みずぼうそう 6,000円
- 麻しん風しん 7,000円
- B型肝炎 18,000円
- インフルエンザ 1回目 3,000円
2回目 2,500円

【継続】 配食サービス事業
704 万円〈健康福祉課〉

75 歳以上の高齢者や 70 歳以上のひとり暮らしの高齢者等に対して、栄養バランスのとれた食事の提供を行い、健康で安心して暮らすことができるように支援を行います。

【事業内容】

- 月 4 回、利用者の自宅に配食ボランティアが弁当をお届けします。



配食ボランティアによる活動

● その他の主な事業

- 生活習慣病予防事業 2,893万円 (健康福祉課)
- むくもり助成事業 315万円 (//)
- 高齢者等外出支援事業 271万円 (//)
- 生涯歯科保健事業 197万円 (//)
- 特定健診事業 1,908万円 (住民会計課)
- 人間ドック事業 15万円 (//)

4 協創のまちづくりの推進 3,799万円

(1) 協創のまちづくり 3,799万円	住民参画の推進	3,799万円
(2) 男女共同参画社会の推進	男女共同参画社会の推進	

■ 主な事業と予算

- さまざまな行政課題の解決や魅力的なまちづくりについて、広く町民の皆さんが参画し、町民と行政とが協創してまちづくりに取り組むことを推進します。

● 重点的に実施する事業

【継続】 自治会活動交付金事業
2,200万円（総務課）

町内の自治会を支援することにより、安定的な地域活動の維持及び地域の特色を活かした主体的な活動を推進します。
また、光熱費の高騰により地区センター等の維持管理経費の負担が大きくなっていることから、昨年度同様、交付金を増額し、自治会の負担軽減を図ります。



自治会によるふれあいまつりの様子

【継続】 協創のまちづくり事業
645万円（総務課）

住民自らが地域社会に関心を持ち、「理想・魅力・交流・育成・連携・互助」をキーワードに、自治会などの地域コミュニティ団体が地域課題を解決するために行う事業に対し、補助金を交付します。

【対象事業】

「地域住民の親睦・互助」や「地域の人材育成」、「地域活動に要する備品購入」など

【継続】 地区センター修繕事業
146万円（まなび交流課）

地区センターの長寿命化を図るため、老朽化が著しい地区センターの塗装や劣化した箇所の修繕を行います。

【対象施設】

- 田屋集落センター
- 田代コミュニティセンター など

II 誰もが住みたくなる“まち” 24億8,940万円

1 快適に暮らせる生活環境の創出 20億4,692万円

(1) 生活環境の整備 13億1,356万円	住環境の整備	2,359万円
	水道施設の整備	6億3,445万円
	生活排水処理施設の整備	4億5,358万円
	環境衛生の充実	2億 194万円
(2) 交通・通信ネットワークの整備 7億3,336万円	道路交通網の整備	6億5,740万円
	生活交通対策の推進	3,239万円
	地域情報化の推進	4,357万円

■ 主な事業と予算

- 木造住宅の耐震診断、耐震改修工事に対する助成事業を実施します。
- 町道整備、道路維持修繕事業、安全施設設置事業や橋りょう長寿命化事業を実施し、計画的な維持管理に努めます。また、除雪体制も国・県道路線交換等を進め、効率的な計画により住民サービスの充実に努めます。
- バス交通対策については、引き続き関係町村と連携しながら路線維持に努めます。

● 重点的に実施する事業

【新規】最終処分場遮水シート敷設事業 2,180万円〈農林環境エネルギー課〉

埋立残余容量が少なくなっている最終処分場埋立地について嵩上げに必要な工事を行い、延命化を図ります。

【事業内容】

- 嵩上げ部分の遮水シート及び遮光性保護マット敷設工事

【新規】橋りょう修繕事業 880万円〈地域整備課〉

町道橋梁において、経年劣化により腐食及び損傷を受けた外装を修繕し、安全な通行と景観の向上を図ります。

【事業内容】

- 町道上外川線
 - ・たかばし修繕工事 880万円

【継続】道路改良事業（町道2路線） 3億6,404万円〈地域整備課〉

生活関連道路の拡幅改良などにより、安全性や利便性、快適性の向上を図ります。

【事業内容】

- 町道茶屋場田子線 7,078万円
 - ・歩道整備工事
 - ・物件移転補償費
- 町道葛巻浦子内線 29,326万円
 - ・道路改良工事
 - ・用地取得費
 - ・登記測量委託

【新規】トンネル長寿命化修繕事業 950万円〈地域整備課〉

トンネル法廷点検の調査結果をもとに、損傷の激しい箇所を計画的に修繕することで長寿命化を図ります。

【事業内容】

- トンネル長寿命化修繕工事
 - ・上外川トンネル長寿命化工事

【拡充】水洗化普及支援事業 1,000万円〈水道事業所〉

公共用水域の水質保全と生活環境の向上を図るため、水洗化に係る工事に要する経費の一部を助成します。

令和6年度から限度額を引き上げ、水洗化普及率の更なる向上を図ります。

【事業内容】

- 一般世帯
 - ・補助対象経費の1/2、42万5千円を限度
- 高齢者世帯等
 - ・補助対象経費の2/3、57万円を限度

【継続】橋りょう長寿命化修繕事業 2,980万円〈地域整備課〉

橋梁定期点検の調査結果をもとに、損傷の激しい橋梁を計画的に修繕することで長寿命化を図ります。

【事業内容】

- 橋りょう長寿命化 2,980万円
 - ・野中向橋橋りょう長寿命化修繕工事
 - ・橋りょう設計業務

【継続】最終処分場長寿命化事業
2,140万円〈農林環境エネルギー課〉

稼働から35年が経過し、機器類の経年劣化が著しい水処理施設について、年次点検の結果に基づき必要な修繕を行い延命化を図ります。

【事業内容】

- 水処理施設制御盤製作

【継続】バス路線運行拡大支援対策事業
1,427万円〈政策秘書課〉

民間バス路線の維持とバス利用者の利便性向上のため、民間バス事業者及びバス利用者に対して、補助金及び助成金を交付します。

【事業内容】

- JRバス東北 大平橋線・葛巻線の増便
- 100円バス
 - ・JRバス東北（町内便）：一律100円
 - ・JRバス東北（白樺号）：運賃と100円の差額分を助成
 - ・県北バス（葛巻線）：一律100円

【継続】除雪機購入事業
1,870万円〈地域整備課〉

機械設備の損耗老朽化に伴い除雪機械を購入し、冬期間の安全な交通確保を図ります。

【事業内容】

- ロータリーアタッチメント除雪機
1台 1,870万円

【継続】高齢者世帯下水道使用料支援事業
782万円〈水道事業所〉

高齢者が居住する世帯を対象に水洗化に係る維持管理費の一部を支援し、水洗化普及率の向上を図るとともに高齢者が住みやすい環境づくりを促進します。

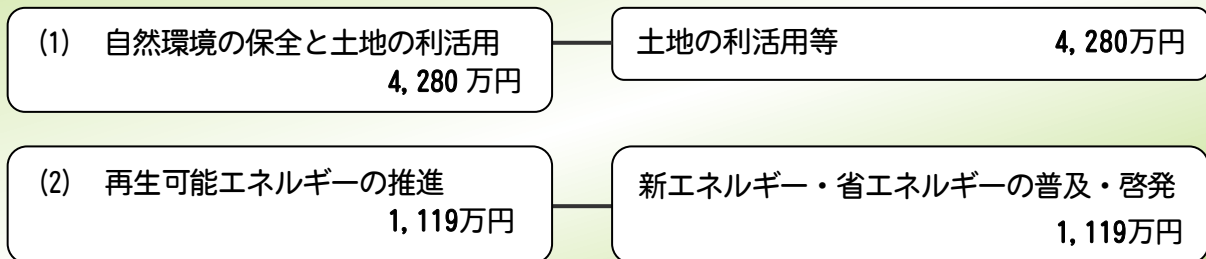
【事業内容】

- 75歳以上の高齢者が居住する世帯の下水道使用料の一部を補助

●その他の主な事業

●馬淵川（北部）地区水道施設整備事業	2億3,300万円	（水道事業所）
●浄化槽整備事業	4,200万円	（ // ）
●廃棄物処理事業	7,035万円	（農林環境エネルギー課）
●し尿処理事業	4,034万円	（ // ）
●JRバス生活交通路線維持事業	785万円	（政策秘書課）
●広域生活路線維持事業	681万円	（ // ）

2 自然と共生し地域の豊かな資源を活用するまちづくり 5,399万円



■ 主な事業と予算

- 町の貴重な財産である自然環境を守り育て、次世代へ引き継ぐための意識啓発と自然環境保護に取り組みます。
- 新エネルギーなどの導入や環境に配慮した取り組みを町民や事業者が実感できるような事業を推進します。

●重点的に実施する事業

【拡充】エコ・エネ総合対策事業
970万円〈農林環境エネルギー課〉

地域循環型社会の構築と町内経済の活性化を図るため、新エネルギー・省エネルギー設備の導入に要する経費に対し補助金を交付します。

【事業内容（拡充分）】

- 太陽光発電設備、蓄電池導入経費の助成
- 電気自動車等購入経費の助成
- 木質燃料利用設備導入経費の助成

【継続】河川自然災害防止対策事業
400万円〈地域整備課〉

豪雨時に洪水被害を受けた道路横断排水路を修繕することにより、地域安全の向上を図ります。

【事業内容】

- 畑地区排水路整備工事
 - ・大型排水路 L=20m 400万円

【継続】中山間地域総合整備事業・江刈地区
375万円〈地域整備課〉

江刈地区（四日市～栗山）の基盤整備及び環境整備を広範囲で進めることで農業の振興を図ります。

【事業内容】

県営事業負担金 375万円

- 全体計画
 - ・農道整備 6路線・排水路整備 2路線
 - ・集落排水路 2路線・防火水槽 7箇所
 - ・水辺空間施設 1箇所
- 令和6年度
 - ・農道大沢線
農道整備 L=262m 流末放流工 一式



くずまき第二風力発電所の風車

●その他の主な事業

- 中山間地域等直接支払制度事業 1,318万円（農林環境エネルギー課）
- 河道浚せつ事業 200万円（地域整備課）

3 こころ穏やかに安全安心に暮らせる地域社会づくり 3億8,849万円

(1) 防災対策、消防・救急体制の充実 3億7,883万円

防災対策、消防・救急体制の充実 3億7,883万円

(2) 交通安全・防犯・青少年問題対策の充実 966万円

交通安全・防犯・青少年問題対策の充実 966万円

■ 主な事業と予算

- 災害の未然防止および応急体制の確立を図るとともに、町民の防災意識の高揚に努めます。
- 関係団体との緊密な連携を図りながら、消防施設の近代化と組織体制の強化に努めるとともに、町民の防火意識の高揚に努めます。
- 事故や犯罪がなく誰もが安心して暮らせるまちづくりに向け、町民の意識啓発活動に取り組みます。

●重点的に実施する事業

【新規】 Jアラート専用アンテナ設置事業
270万円〈総務課〉

近年の激甚化・頻発化する災害に備え、次世代の衛生通信システムを構築するため、全国瞬時警報システム（Jアラート）専用の衛星アンテナを設置し、防災行政無線の機能の拡充・強化を図ります。



消防団による火災防御訓練

●その他の主な事業

● 盛岡地区広域消防組合負担金	3億 410万円	(総務課)
● 消防団活動経費	3,584万円	(//)
● 災害対策経費	1,095万円	(//)
● 防犯活動経費	642万円	(//)
● 消防団備品購入事業	458万円	(//)
● 防犯活動経費	642万円	(//)
● 青少年育成ネットワーク補助事業	75万円	(まなび交流課)

III 地域資源を活かす“しごと” 5億0,903万円

1 基幹産業の新たな展開による高収益産業の実現 3億8,721万円

(1) 農業の振興 2億9,090万円	畜産振興	1億 128万円
	農業振興	1億 966万円
	農業施設等の整備	7,996万円
(2) 林業の振興 8,838万円	林業振興	8,838万円
(3) 農林産物加工の振興 793万円	加工施設の充実	793万円

■ 主な事業と予算

- 農業振興では、園芸作物の生産拡大、経営所得安定対策の推進を図るなど、農家の所得向上に努めます。
- 畜産振興では、粗飼料生産基盤の強化と粗飼料自給率の向上を図るとともに、乳用牛および肉用牛の改良を進め、農家経営の安定化対策に努めます。
- 林業振興では、豊かな森林環境の将来にわたる保全と利用拡大を推進します。

●重点的に実施する事業

【新規】乳製品加工施設設備整備事業
4,300万円〈農林環境エネルギー課〉

ミルクハウスくずまきで稼働している充填機の老朽化が進んだことから、機器更新による処理能力向上及び作業効率化を図ります。

【事業内容】

○充填機の更新

【新規】特産品ブランド化確立支援事業
250万円〈農林環境エネルギー課〉

本町の特産品について、専門家に協力を依頼し、ブランド化を進めるほか、都市部での商談会を通じ販路の拡大を図ります。

【拡充】町産材利用促進事業
420万円〈農林環境エネルギー課〉

町産材の利用拡大を図るため、町で生産された木材を利用して、住宅や畜舎等を新築、または増改築する場合の建築経費の一部を助成します。

【事業内容】

○補助額：町産材使用量 1 m³あたり 6万円
○補助上限額：720万円(120 m³)

【新規】くずまき体験交流施設設備整備事業
700万円〈農林環境エネルギー課〉

くずまき体験交流施設利用者の利便性を向上させるため、多目的トイレの新設及びLED照明への交換を行います。

【事業内容】

○トイレ改修
○LED照明交換

【拡充】畜産労働力負担軽減対策事業
2,000万円〈農林環境エネルギー課〉

畜産農家の労働力の負担軽減、収益性の向上を図るために必要な機械等の導入または更新に係る費用の一部を助成します。

【事業内容】

○事業費の1/2の額を補助
○補助上限額：30万円～500万円
※対象機器により補助上限額が異なります

【拡充】電気柵設置事業
300万円〈農林環境エネルギー課〉

ツキノワグマ等の有害鳥獣による農作物被害を防止するため、農家等が電気柵を購入し設置した場合、電気柵の購入に要する経費に対し、補助金を交付します。

【事業内容】

○購入経費の2/3の額を助成
(上限16万円/ha)

●その他の主な事業

● 森林保全特別対策事業	2,952万円(農林環境エネルギー課)
● 草地更新支援事業	2,160万円(//)
● 育成牛預託助成事業	2,131万円(//)
● 農地基盤整備事業	200万円(//)
● 牛乳消費拡大普及事業	194万円(//)
● 預託牛互助会支援事業	100万円(//)
● 輸入受精卵移植活用促進事業	100万円(//)

2 交流・連携の強化による地域産業の育成 1億1,861万円

(1) 商工業の振興 6,801万円	商工業の振興	6,801万円
(2) 観光の振興 3,043万円	観光の振興	3,043万円
(3) 交流・連携の推進 2,017万円	交流・連携の推進	2,017万円

■ 主な事業と予算

- 商工業振興では、新型コロナウイルス感染症や原材料、エネルギー類の価格高騰の影響を受けた事業者に対する支援事業や、各種補助制度による商工業者の経営の持続、安定、革新を支援します。
- 交流連携の推進では、関係人口の創出・拡大を図るとともに、移住・定住者希望者へ向けた体験ツアーやおためし居住の実施、住宅取得支援の実施により、移住・定住者の確保に努めます。

● 重点的に実施する事業

【新規】 グリーンテージ長寿命化修繕事業
400万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

ふれあい宿舎グリーンテージの利用者の快適性の向上及び長寿命化を図るため、経年劣化による施設設備の修繕を行います。

【事業内容】

- 客室トイレ修繕（12か所）
 - ・洋式便器及びタンク交換
 - ・紙巻器交換
 - ・床排水フランジ交換
 - ・トイレ内床張替え

【継続】 快適な住まいづくり応援事業
1,000万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町民の居住環境の向上と町内経済の活性化を図るため、居住環境の向上を目的とした住宅改修工事を町内事業者で施工する場合、経費の一部をくずまき商品券で補助します。

【補助内容】

- 補助率：1/3
- 補助上限額：50万円

【継続】 特産品販売促進事業
1,200万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

地域経済の回復と活性化を図るとともに、町の特産品の販売促進や販路拡大、認知度向上を目的として、対象期間中に消費者が購入した町の特産品を町外に発送する際の送料を補助します。

【補助対象事業者】

- 町内中小企業者で町内産物を加工した製品の製造者または町内産生鮮品の生産者



特産品の販売促進を図ります

● その他の主な事業

● くずまきDMO事業	1,020万円	(いらっしやい葛巻推進課)
● 商工業振興対策事業	650万円	(//)
● 商店等設備導入支援事業	500万円	(//)
● 中心市街地活性化事業	460万円	(//)
● 町産業まつり開催事業	250万円	(//)

3 地域資源を活かした起業支援と雇用の確保 321万円

(1) 起業支援と雇用の確保
321万円

起業支援と雇用の確保

321万円

■ 主な事業と予算

- 商工業の経営品質向上や技術の承継、後継者の育成など、産業振興による地域経済の活性化を図ります。
- 町民の就労機会の確保と拡大、就労者の地元への定着を促進するため、事業主等の雇用に対する支援を行います。
- 町民が新たな資格や免許を取得する際の経費の一部を支援し、安定した就労支援と継続雇用、スキルアップによる労働者の所得向上を図ります。

● 重点的に実施する事業

【継続】 特定地域づくり事業

1,085万円〈政策秘書課〉

新たな雇用を創出するとともに、都市部からの若者の呼び込みと地域内の若者の定着を推進するため、労働者派遣事業を行う「特定地域づくり事業協同組合」の取組を支援します。

【助成内容】

- 特定地域づくり事業協同組合に対する補助
(派遣職員の人件費、事務局運営費)
- 組合員の利用料に対する補助

【継続】 資格取得助成事業

100万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町への定住促進と安定した就労支援を行うとともに、地域産業の振興及び町民の所得向上を図るための就労に要する資格取得に係る経費の一部を支援します。

【補助内容】

- 補助金の額：対象経費の 1/2
- 補助上限額：5万円

【継続】 葛巻型インターンシップ受入事業

116万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町に関心のある大学等の学生を対象とし、第三セクター等における職業体験を実施します。

【事業内容】

- 全4コース(公務、牧場、ホテル、ワイン)にて4泊5日の日程で実施。



インターンシップでの作業体験

IV その他の行政業務 29億3,131万円

行政運営、賦課徴収、戸籍、選挙、町債の返済等で、総合計画の体系に分類できない業務
29億3,131万円

公債費	9億5,528万円
総務、企画、統計	17億5,848万円
税務、戸籍	1億640万円
議会、選挙、監査	7,157万円
その他	3,958万円

●重点的に実施する事業

【新規】戸籍システム等改修事業 1,181万円〈住民会計課〉

住民票などの証明書をコンビニエンスストアで受け取れる「コンビニ交付」導入のためシステム改修等を行います。また、戸籍の振り仮名の通知書を発行するためのシステム改修も行います。

【継続】庁舎等建設事業 8億2,074万円〈政策秘書課〉

新庁舎の整備に続き、消防分署棟などを整備し、さまざまな機能の集約化と、新たなまちの拠点としての賑わいの創出を図ります。

【事業内容】

- 2期工事
(消防分署棟、大屋根広場、車庫棟の整備)

【新規】葛巻町70周年記念事前準備事業 100万円〈政策秘書課〉

令和7年7月15日に迎える「町村合併70周年」の節目を、町民が一体となってお祝いするため、啓発事業やイベントの実施により、まちづくりに対する機運の醸成を図ります。

【事業内容】

- 町村合併70周年記念に係る啓発事業
- 宝くじ文化公演
「ラグジュアリーコンサート」の開催



令和3年に実施した「葛巻町66周年記念式典」

令和5年度から令和6年度に予算を繰り越して実施する事業

事業名	事業費	完了見込
財産管理事業	1,450万円	R6.6月
協創推進事業	230万円	R6.5月
庁舎等建設事業	3億9,174万円	R6.10月
戸籍住民基本台帳管理事業	1,661万円	R6.12月
価格高騰重点支援給付金給付事業	2,173万円	R6.6月
町道茶屋場田子線道路改良事業	1,000万円	R7.3月
町道役場線道路改良事業	500万円	R6.12月
町道下町田子線道路改良事業	3,700万円	R6.12月
公民館図書室運営事業	1,835万円	R6.7月
繰越事業費 計	5億1,723万円	

■森林環境税及び森林環境譲与税の創設

パリ協定の枠組みの下における温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、平成31年3月に「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が成立し、「森林環境税」及び「森林環境譲与税」が創設されました。

■森林環境税

令和6年度から個人住民税均等割の枠組みを用いて、国税として1人年額1,000円を市町村が賦課徴収するものです。

■森林環境譲与税

市町村による森林整備等の財源として、令和元年度から譲与が開始され、市町村や都道府県に対して私有林人工林面積、林業就業者数及び人口による客観的な基準で按分して譲与されています。

■葛巻町への譲与額

葛巻町にも令和元年度から森林環境譲与税が譲与され、令和元年度の2,043万円から段階的に増加し、令和5年度は4,857万円となっており、5年間の総額は1億9,951万円となっています。令和6年度は5,820万円の譲与を見込んでいます。

■森林環境譲与税の使途

森林環境譲与税は間伐等の「森林整備に関する施策」、人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林整備の促進に関する施策」に充てることとされており、葛巻町では、主に次の事業に取り組んでいます。

- 森林所有者への経営意向調査や森林現況調査
- 森林整備（除間伐、作業道補修、測量機器整備等）
- 林業就業者の確保・育成対策（森林雇用促進住宅整備、労働安全装備品導入事業）
- 普及啓発（トリプルまきフェスタ開催、森林公園修繕）

■令和6年度の取組事業

事業名	事業費
専門員の雇用（林政アドバイザー）	497万円
森林所有者への経営意向調査・森林現況調査	765万円
森林整備（除間伐、作業道補修、測量機器整備等）	2,725万円
木材利用の促進（町産材利用促進事業、橋りょう修繕）	1,300万円
林業就業者の確保・育成対策（労働安全装備品導入事業）	58万円
普及啓発（トリプルまきフェスタ開催、森林公園修繕）	186万円
基金積立	289万円
合 計	5,820万円

令和4年度 まちの決算の状況

■歳入歳出決算額

○一般会計・特別会計の状況

令和4年度の一般会計及び3つの特別会計の決算総額は、歳入総額114億8,507万円に対し、歳出総額105億4,141万円で、歳入歳出差引額は9億4,366万円（翌年度への繰越財源を除いた実質収支は5億8,436万円）となっています。

また、前年度と比較して歳入総額は10億2,283万円（9.8%）の増、歳出総額は4億4,573万円（4.4%）の増となっています。

会計名	当初予算額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計	75億6,026万円	103億3,381万円	94億970万円	9億2,411万円
特別会計	11億5,672万円	11億5,126万円	11億3,171万円	1,955万円
国民健康保険事業	8億4,546万円	8億4,804万円	8億3,707万円	1,097万円
農業集落排水事業	2億2,394万円	2億1,568万円	2億1,129万円	439万円
後期高齢者医療事業	8,732万円	8,754万円	8,335万円	419万円
合計	87億1,698万円	114億8,507万円	105億4,141万円	9億4,366万円

○一般会計の歳入・歳出決算の内訳

歳入項目		令和4年度決算額 (構成比率)	歳出項目		令和4年度決算額 (構成比率)
自主財源	町税	5億8,104万円 (5.6%)	義務的経費	人件費	9億6,269万円 (10.2%)
	諸収入	1億2,396万円 (1.2%)		公債費	10億5,621万円 (11.2%)
	分担金及び負担金	4,702万円 (0.4%)		扶助費	6億6万円 (6.4%)
	繰入金	12億7,085万円 (12.3%)	投資的経費	普通建設事業費(補助)	4億723万円 (4.3%)
	その他の自主財源	4億2,899万円 (4.2%)		普通建設事業費(単独)	29億5,058万円 (31.4%)
依存財源	地方交付税	38億3,950万円 (37.2%)	災害復旧事業	4,388万円 (0.4%)	
	町債	26億205万円 (25.2%)	その他の経費	補助費等	13億2,072万円 (14.0%)
	国庫支出金	8億139万円 (7.8%)		物件費	8億6,252万円 (9.2%)
	県支出金	3億6,020万円 (3.5%)		繰出金	4億7,922万円 (5.1%)
	地方譲与税	1億2,749万円 (1.2%)		その他の経費	7億2,659万円 (7.8%)
	その他の依存財源	1億5,132万円 (1.4%)		合計	94億970万円 (100.0%)
合計	103億3,381万円 (100.0%)				

○企業会計の状況

病院事業会計は総収益 10 億 9,919 万円に対し、総費用が 10 億 8,360 万円となり、純利益 1,559 万円を計上しました。

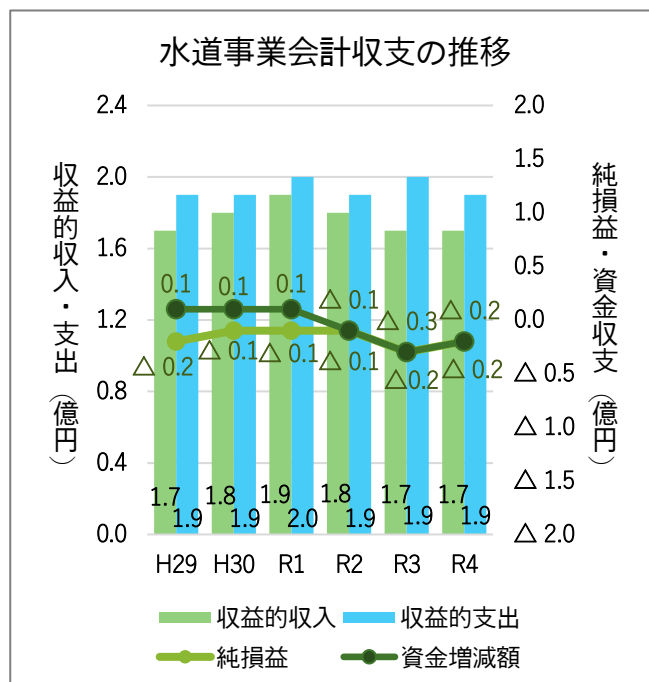
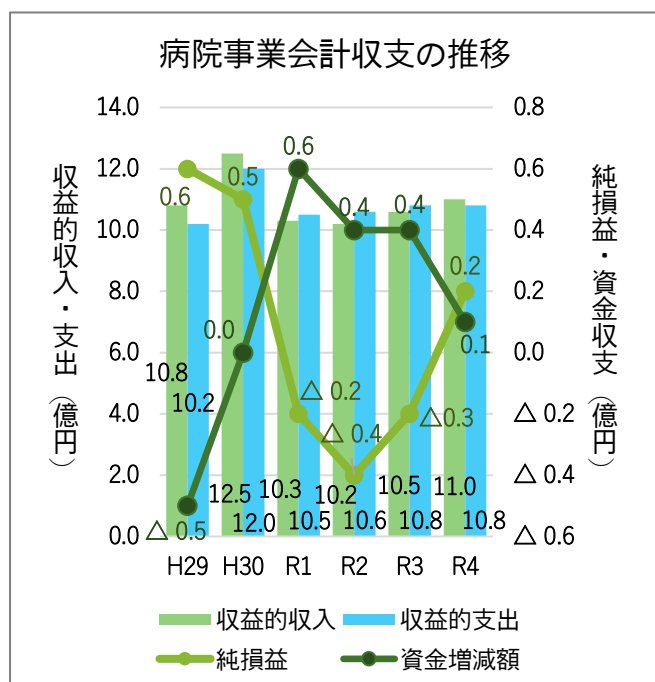
水道事業会計は総収益 1 億 6,539 万円に対し、総費用が 1 億 8,790 万円となり、純損失 2,251 万円を計上しました。

(税込)

項目	病院事業会計		水道事業会計	
	金額	金額	金額	金額
収益的収支	医業収益	6億9,719万円	営業収益	1億2,034万円
	医業外収益	3億2,173万円	営業外収益	4,505万円
	医業費用	10億6,132万円	営業費用	1億7,098万円
	医業外費用	2,017万円	営業外費用	1,692万円
	特別利益	8,027万円	特別利益	—
	特別損失	211万円	特別損失	—
	純損益	1,559万円	純損益	△2,251万円
資本的収支	資本的収入	1億1,974万円	資本的収入	7,503万円
	資本的支出	1億9,050万円	資本的支出	1億4,103万円
	差引収支	△7,076万円	差引収支	△6,600万円
資金収支(税抜)	資金増減額	981万円	資金増減額	△1,226万円

※ 収益的収支は、経営活動によって発生する収入と支出のことをいい、資本的収支は、建物や施設の建設などに係る収入と支出のことをいいます。

また、「資金収支」は事業年度における資金の受払いの状況を経理したもので、資金増減額は、事業年度における現金の増加（△は減少）額を示しています。

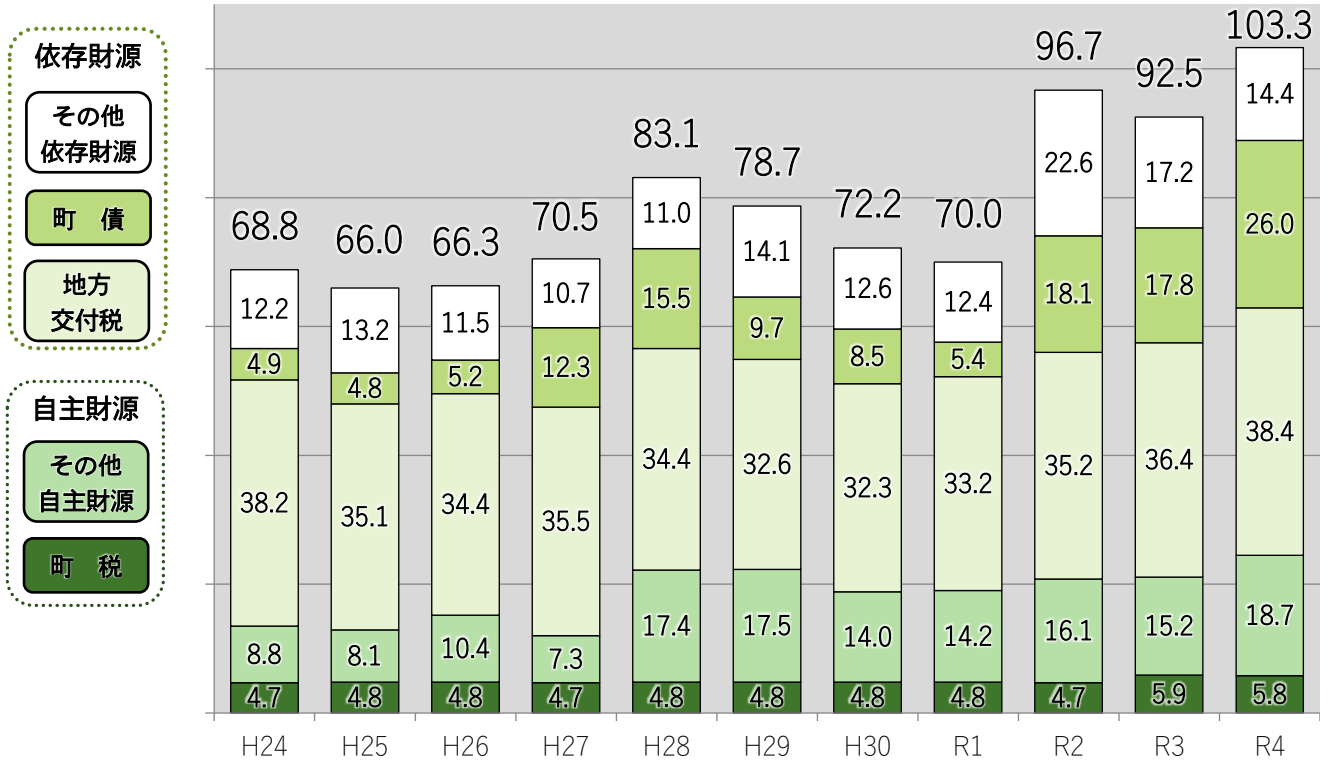


■一般会計歳入歳出決算額の推移

令和4年度の町の一般会計決算額は、歳入が103億3,381万円（前年度比10億8,378万円、11.7%増）、歳出が94億970万円（前年度比5億359万円、5.7%増）となり、歳入歳出差引額は9億2,411万円（前年度比5億8,019万円、168.7%増）の黒字となっています。

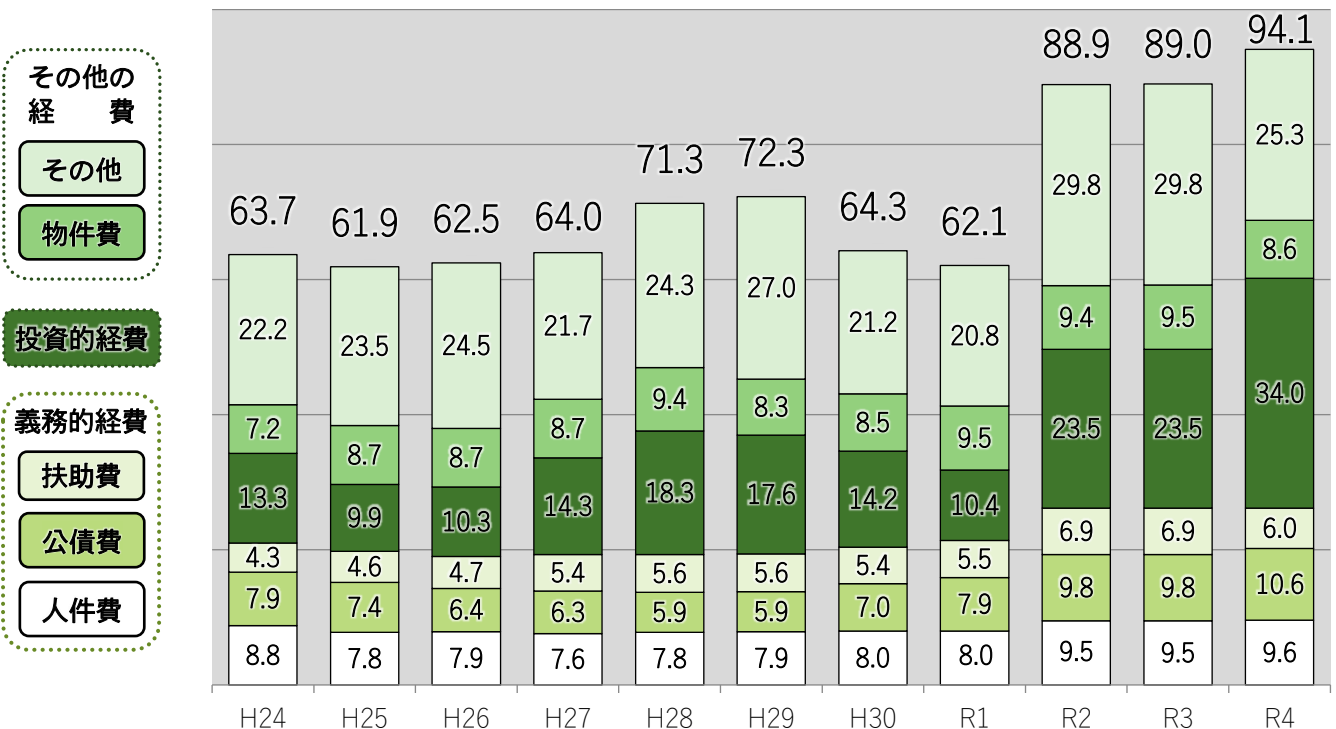
●歳入決算額の推移

（単位：億円）



●歳出決算額の推移

（単位：億円）

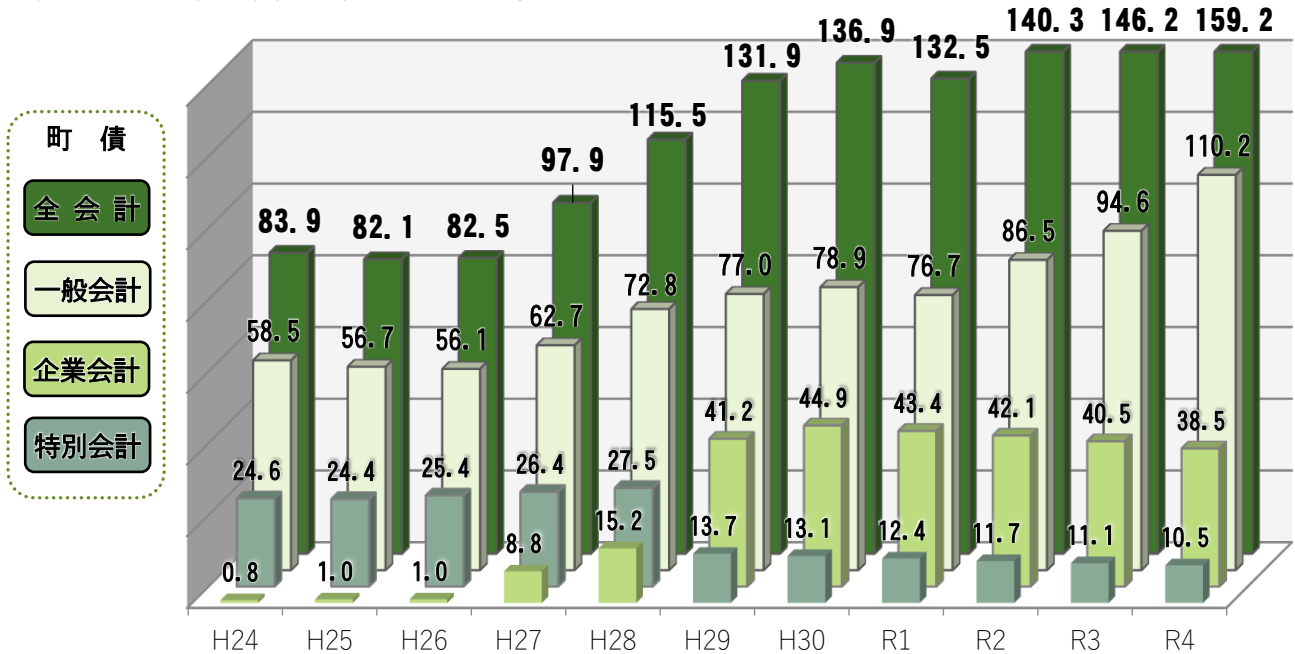


■町債現在高の推移

町の借金である町債残高の推移を表したグラフです。令和4年度の一般会計の借入額は、庁舎等建設事業などの公共施設整備により26億205万円（前年度比8億2,848万円、46.7%増）となり、令和4年度末の全会計の借入残高は、159億2,437万円（前年度比13億671万円、8.9%増）となっています。

一方で、将来にわたる安定的な財政運営を見据え、起債残高の縮小を図る取組みとして、3億4,645万円の繰上償還を行っています。

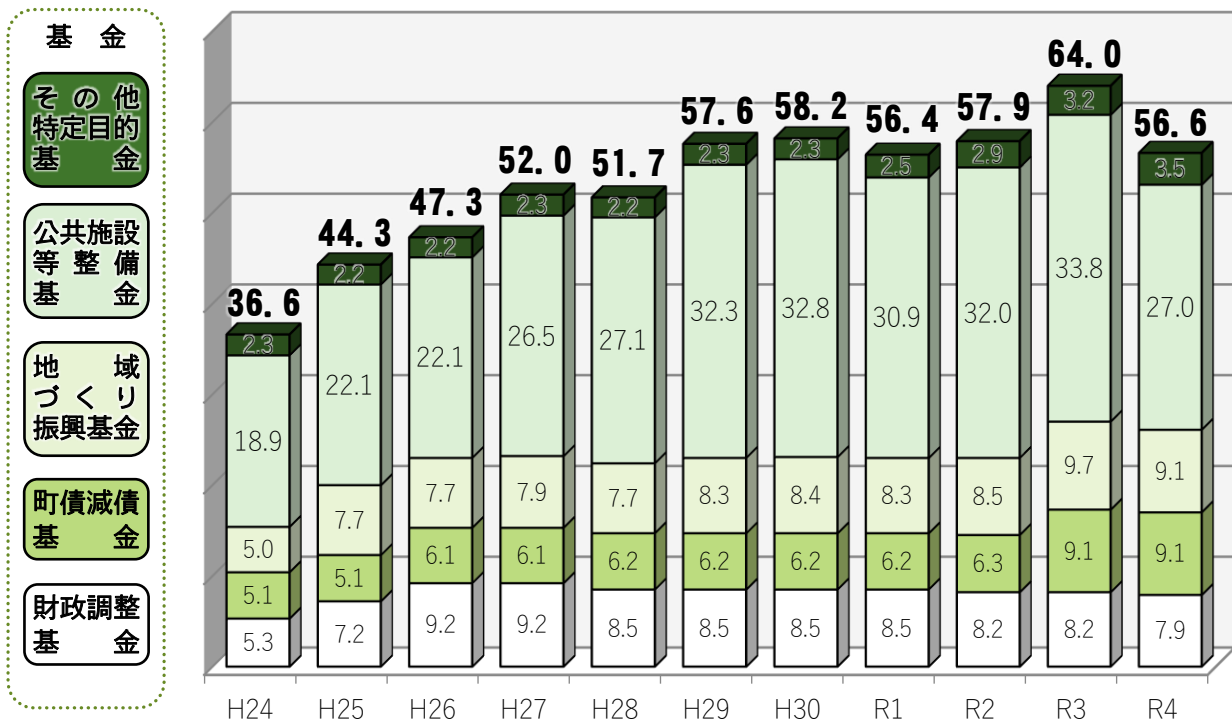
（単位：億円）



■基金残高の推移

町の貯金である基金の令和4年度末の基金残高総額は56億6,219万円で、前年度に比較して7億3,390万円（11.5%）の減となりました。積み立てた基金は、庁舎等建設のほか、今後見込まれる老朽化した公共施設や各種インフラの修繕、更新などの費用に充てられる予定です。

（単位：億円）



■まちの財政の状況

●財政指標

項目	令和4年度 決算 A	令和3年度 決算 A	差引 (A - B)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	15.0 %	20.0 %
連結実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	20.0 %	30.0 %
実質公債費比率	7.9 %	8.3 %	△0.4p t	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	12.8 %	-	皆増	350.0 %	
財政力指数	0.18	0.17	0.01p t		
経常収支比率	80.0 %	81.4 %	△1.4p t		

■実質赤字比率

一般会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の解消を図る必要があります。

町の令和4年度一般会計における実質赤字額は生じていませんので、実質赤字比率はありません。

■連結実質赤字比率

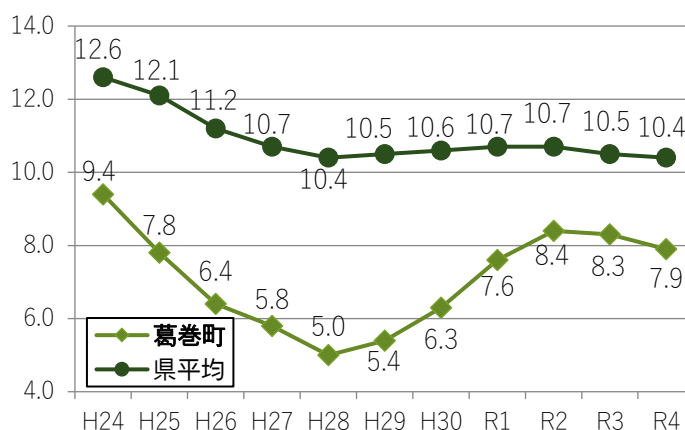
特別会計などを含め全ての会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。連結実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の早期解消を図る必要があります。

町の令和4年度決算において、いずれの会計とも実質赤字額は生じていませんので、連結実質赤字比率はありません。

■実質公債費比率

借入金の返済額とこれに準じる額の大きさを指標化して、資金繰りの危険度を示す比率です。実質公債費比率の早期健全化基準は25%ですが、18%を超えると町債の借入れに対して都道府県からの許可が必要となります。

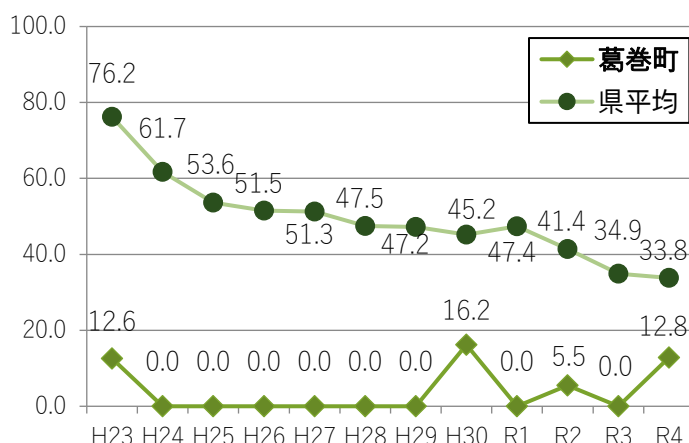
町の令和4年度における実質公債費比率は、7.9%で、前年度と比較して0.4ポイント改善しています。



■将来負担比率

一般会計における将来負担見込額（借入金の残高、公益企業の借入金の繰入見込額、退職手当負担見込額、第三セクターの負債額等）を指標化して、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率です。

町の令和4年度における将来負担比率は、12.8%で、前年度と比較して12.8ポイント上昇しています。



■財政力指数

財政力(※1)の過去3カ年間の平均値をいい、財政力を示す指数として用いられる数値で、財政力指数が「1」に近いほど財政力が強いとみることができます。

町の令和4年度の財政力指数は0.18で、前年度と比較して0.01ポイント増となりました。

※1 財政力 … 基準財政収入額(※2)の基準財政需要額(※3)に対する割合

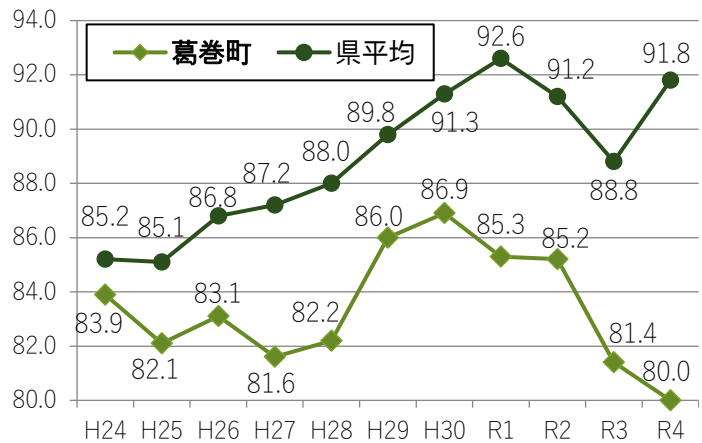
※2 基準財政収入額 … 通常標準的に徴収しうるであろうと考えられる税収入

※3 基準財政需要額 … 合理的で妥当な水準で行政活動を行っていくために必要な財政需要

■経常収支比率

使い道が特定されていない経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように経常的に支出される経費に割り当てられる財源の比率で、この比率が低くなるほど財政構造が弾力的であることを示しています。

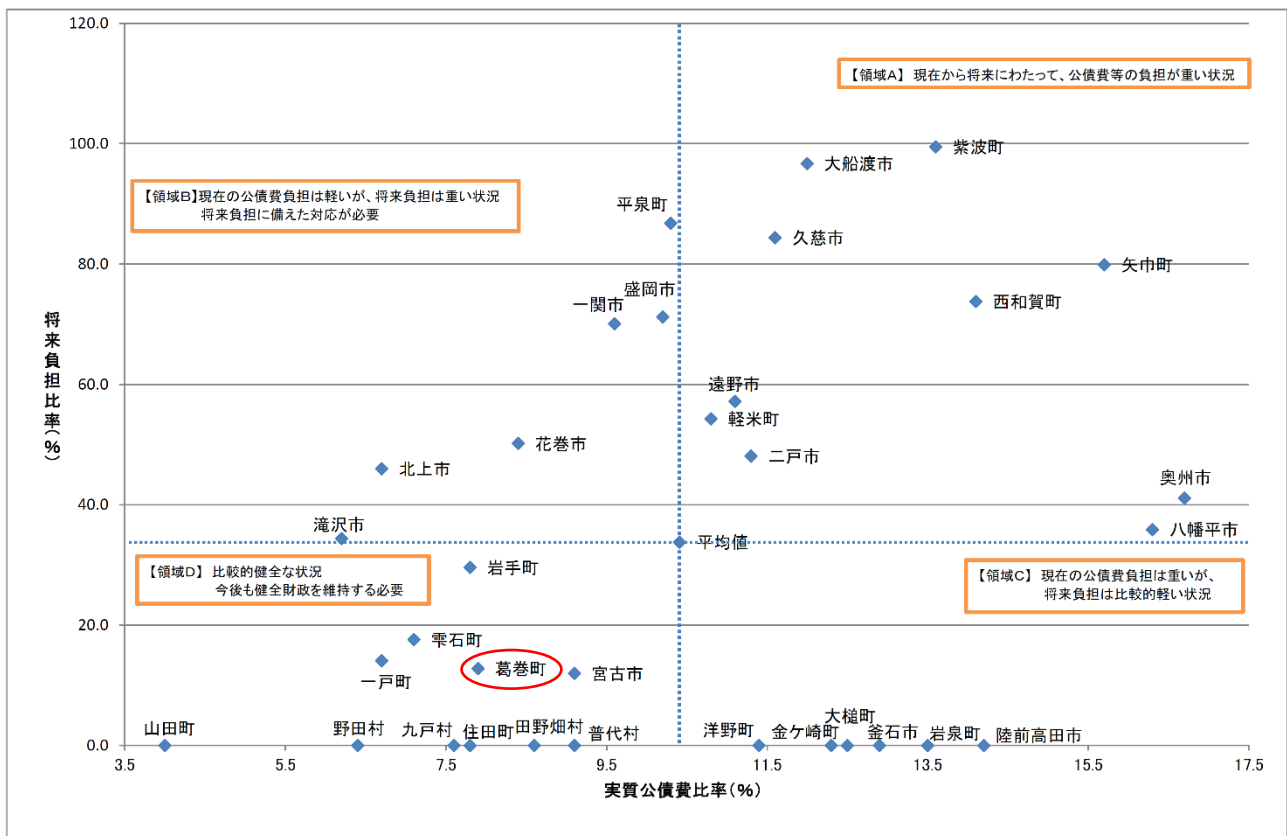
町の令和4年度の経常収支比率は80.0%で、前年度と比較して1.4ポイント改善しています。



●令和4年度財政分析指標クロス表

市町村の財政運営が健全であるかを分析するために、令和4年度の実質公債費比率と将来負担比率を合わせて表にすると次のようになります。

当町は実質公債費比率、将来負担比率ともに低い「領域D」に分布しており、現状では比較的健全な財政状況であると言えます。



■一部事務組合及び第三セクターの状況（令和4年度）

●関係する一部事務組合等の財政状況

（単位：百万円）

	歳入	歳出	形式収支	実質収支
盛岡地区広域消防組合	7,071	7,005	66	57
盛岡北部行政事務組合	7,813	7,475	338	338
岩手県市町村総合事務組合	9,642	9,569	73	73
岩手県後期高齢者医療広域連合	161,926	159,741	2,185	2,185

（※財政状況資料集より）

形式収支・・・歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額

実質収支・・・形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源額を差し引いた額

●第三セクター等の経営状況及び町の財政支援の状況

（単位：百万円）

	経常損益	純資産	町からの 出資金	町からの 補助金	町の損失 補償債務 残高
(一社)葛巻町畜産開発公社	2	607	189	49	119
(株)グリーンテージくずまき	2	44	20	2	-
(株)岩手くずまきワイン	△18	239	75	4	50
葛巻町森林組合	2	129	27	1	100

（※財政状況資料集より）

経常損益・・・営業収益と営業外収益から、営業費用と営業外費用を差し引いた額

損失補償・・・第三セクターが金融機関から融資を受ける場合に、出資している地方公共団体が融資を行う金融機関と損失補償契約を結ぶこと

令和4年度 まちの財務書類

■地方公会計制度に基づく財務書類(一般会計分)

官庁会計決算を補完する資料として、複式簿記の考え方に基づく新公会計財務書類「①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書」を作成しています。

貸借対照表は、会計年度末時点における資産保有状況とその財源調達状況を、行政コスト計算書は、会計期間中の資産形成に結びつかない経常的な行政活動に係るコストを、純資産変動計算書は、貸借対照表に計上されている各項目が、1年間でどのように変動したかを、資金収支計算書は会計期間中の現金等の流れを表したものとなっています。

■貸借対照表 (BS)

貸借対照表は、会計年度末時点で住民サービスを提供するために所有する資産(土地、建物、基金など)がどれだけあり、その資産を形成するために今までどのような財源(負債、純資産)で賄ってきたのかを表す財務書類です。

●貸借対照表 (BS)

(単位:千円)

[資産の部]	令和4年度	令和3年度	差引増減	[負債の部]	令和4年度	令和3年度	差引増減
固定資産	25,642,768	24,305,889	1,336,879	固定負債	10,953,602	9,623,430	1,330,172
有形・無形固定資産	19,774,249	17,820,150	1,954,099	(1)地方債	10,127,795	8,757,511	1,370,284
(1)土地	1,503,316	1,478,187	25,129	(2)退職手当引当金	825,807	865,919	△ 40,112
(2)立木竹	125,190	116,356	8,834	(3)その他	0	0	0
(3)建物	9,598,601	5,276,094	4,322,507	流動負債	985,459	783,941	201,518
(4)工作物	881,361	449,041	432,320	(1)1年内償還予定 地方債	896,854	701,310	195,544
(5)インフラ資産	7,263,250	7,376,175	△ 112,925	(2)未払金	0	0	0
(6)物品	315,170	335,416	△ 20,246	(3)賞与等引当金	53,395	46,052	7,343
(7)その他	87,361	2,788,881	△ 2,701,520	(4)預り金	35,210	36,579	△ 1,369
出資金・貸付金等	5,868,519	6,485,739	△ 617,220	負債合計	11,939,061	10,407,371	1,531,690
(1)投資・出資・ 貸付金等	893,913	807,930	85,983	[純資産の部]	令和4年度	令和3年度	差引増減
(2)基金	4,974,606	5,677,809	△ 703,203	資産合計－負債合計	15,457,753	15,102,989	354,764
①減債基金	912,154	909,753	2,401	＝純資産合計			
②特定目的基金	4,062,452	4,768,056	△ 705,604				
流動資産	1,754,047	1,204,471	549,576				
(1)現金預金	959,321	380,499	578,822				
(2)未収金	6,138	4,692	1,446				
(3)財政調整基金	788,588	819,280	△ 30,692				
資産合計	27,396,815	25,510,360	1,886,455	純資産合計	15,457,753	15,102,989	354,764

- 資産 = 将来の世代に引き継ぐ社会資本、債務返済の財源等
- 負債 = 将来の世代の負担となる債務
- 純資産 = これまでの世代の負担

町民一人当たり
換算すると、次の
通りになります



資産 495万円 (R3:448万円)	負債 216万円 (R3:183万円)
	純資産 279万円 (R3:265万円)

※葛巻町の人口 5,538人 (R5.3.31現在)

■行政コスト計算書

行政コスト計算書は、当該年度に行った行政活動のうち、ごみの収集や福祉サービスの提供といった資産の形成には結びつかない行政サービスに係る経費と財源のフローを表したものです。

行政コスト	59.1億円	収益	2.3億円
人にかかるコスト		日常的に受ける収益	
給与や退職引当、共済掛金等	9.4億円	使用料、手数料	0.6億円
物にかかるコスト		その他経常収益	1.6億円
消耗品、維持補修費、減価償却費等	23.4億円		
移転支出コスト		臨時的に受ける収益	
社会保障給付費や補助金など	25.2億円	引当金の取崩しなど	0.1億円
その他のコスト			
支払利息、火災保険料等	1.0億円	純行政コスト	56.8億円
臨時に係るコスト	0.1億円	不足する56.8億円は町税や地方交付税などの一般財源や、国・県補助金などで賄っています。	

■純資産変動計算書

貸借対照表上の「純資産」が1年間でどのように変動したのかを示すものです。

税収や国・県補助金、減価償却などにより、純資産がどのように増減したのかを表しています。

純資産合計	
期首純資産残高	151.8億円
純経常行政コスト	▲56.8億円
税収等	47.7億円
補助金等受入	11.6億円
その他	0.3億円
期末純資産残高	154.6億円

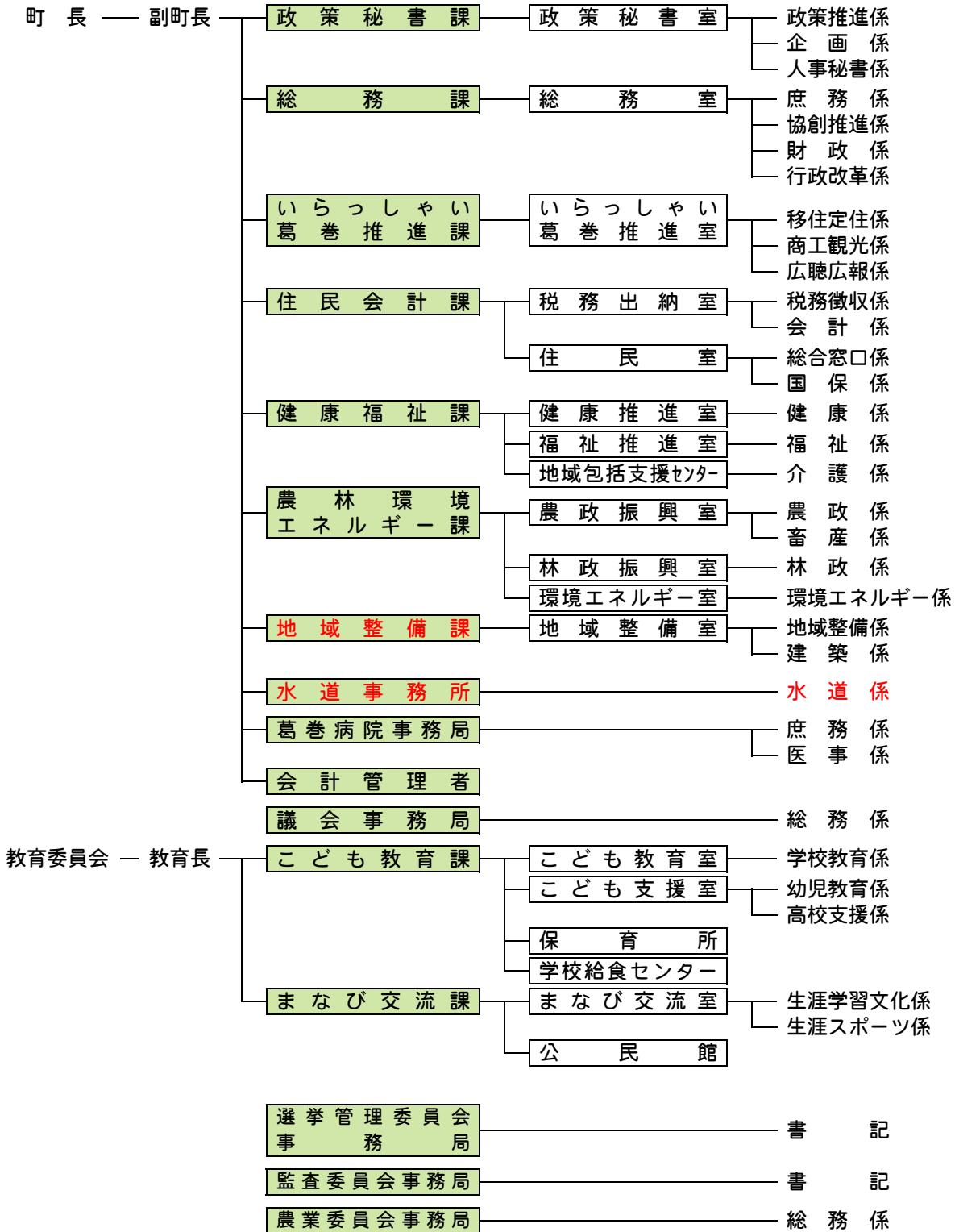
■資金収支計算書

資金収支計算書は、1年間の行政活動による現金預金の収入と支出を表す財務書類です。

1 業務活動収支 A	8.6億円
業務支出	50.2億円
業務収入	58.8億円
臨時支出	－億円
臨時収入	－億円
2 投資活動収支 B	▲18.4億円
投資活動支出	33.5億円
投資活動収入	15.1億円
3 財務活動収支 C	15.6億円
財務活動支出	10.4億円
財務活動収入	26.0億円
本年度資金収支額(A+B+C) D	5.8億円
前年度末資金残高 E	3.4億円
本年度末資金残高(D+E) F	9.2億円
本年度末歳計外現金残高 G	0.4億円
本年度末現金預金残高(F+G)	9.6億円

一般会計の財務書類のほか、町の特別会計・公営事業会計を加えた「全体財務書類」、一部事務組合や第三セクター等を加えた「連結財務書類」は、町ホームページで公表しています。

令和6年度 まちの行政組織



※赤字は新たに行政組織が見直されたもの

くずまきで新たな生活を！

空き家利活用促進事業

U・Iターン者が住居目的で購入した空き家のリフォームや、空き家所有者が空き家の残置物処分、修繕やリフォームを行うと、最大で30万円分の補助金が交付されます。

対象事業	補助金額
町の空き家バンクへの登録がある、もしくは登録することを目的としているもの	①空き家リフォーム支援事業：上限20万円 ②空き家等利活用奨励事業：上限5万円 ③空き家整理等支援事業：上限20万円 ④空き家修繕等支援事業：上限30万円



新婚ライフサポート事業

町内で結婚された方、また、挙式等を行った新婚夫婦へ、最大で50万円分の補助金が交付されます。

対象者と事業別補助金額

【対象者】夫婦のいずれかが45歳未満で町に定住の意思がある夫婦

①新婚ライフサポート金交付事業：10万円

②ウェディング祝い金事業

- ・結婚式及び披露宴を実施：50万円（町外事業者利用：30万円）
- ・結婚式のみを実施：30万円（町外事業者利用：20万円）
- ・披露宴のみを実施：10万円（町外事業者利用：5万円）
- ・結婚記念写真撮影のみを実施：10万円（町外事業者利用：5万円）

③新婚ライフサポート住宅貸与事業

- ・新婚夫婦に住宅を最大2年間貸与：月額5,000円

※10万円分までの交付はくずまき商品券、それを超える分は現金で交付されます。



【詳しい事業のお問い合わせ先】葛巻町役場 いらっしゃい葛巻推進課 TEL：0195-65-8983

お知らせします！ まちの行財政 2024

この予算書に関するご意見、お問い合わせは、葛巻町役場 総務課行政改革係までお気軽にお寄せください。

TEL:0195-65-8982 FAX:0195-65-8995

ホームページ <https://www.town.kuzumaki.lg.jp/>

※ この冊子の印刷費は、1冊当たり約197円です。



スマホの方は
こちらから